

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	業界研究 1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	情報ビジネス科	コース名	コース共通	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	15時間
単位数	1単位	授業形態	講義		
教科書/教材	事前に研修先情報として、資料を配布				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	石原 美由紀	実務経験の有無・職種	有・パソコンインストラクター		
<b>学習目的</b>					
<p>「業界研究」は、世の中にある業界の種類や特徴を知り、興味を感じ、自分が行きたいと思う業界を見つけるために行うものです。自己分析や企業研究と同様に、就活においてとても重要な作業である。まず、世の中にはどんな業界があるのかを知ることから始め、興味のある業界については、さらに詳しく掘り下げながら、学生自身が目指す業界について知ることが大事である。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>業界研究では、興味がある、あるいは自分が志望している業界について知識を深めていくために行う。業界研究を通じて、その業界に抱いていたイメージを再確認したり、イメージとは違う点について認識を改めたりすることを目標とする。「働きたい」と思える業界を見つけるには、その業界で自分が働いているイメージを思い描きながら業界研究をするのが大事であり、実際に働いている方より、詳しく話を聞くことで、その業界についての理解を深めることを目標とする。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	様々な業界で働いている方から、講義を通じて、その業界について詳しく説明をしてもらう。講義の中では「業界に感じた魅力」、「業界の現状と課題・将来性（業界では今、何が起こっていて、これからどのような変化が予想されるのか）」、「自分の生かせる能力や長所と、挑戦してみたい仕事」、「業界で興味のある企業」等についての話をしてもらう。				
注意点	<p>学生が目指す業界についての理解を深めることを目的としている。様々な業界の話聞くことで、その業界、またはそれに関連する業界・職種を理解し、自身の進路決定に役立てるものである。</p> <p>講義中の私語や受講態度などは厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により内容が前後する場合もある。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題				
	小テスト				
	レポート	70%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	事務職 事前調査（1）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
2回	事務職 事前調査（2）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
3回	事務職についての説明（1）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
4回	事務職についての説明（2）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
5回	事務職 レポート作成	聴講内容を振り返り、資料を纏めることができる。			
6回	販売職 事前調査（1）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
7回	販売職 事前調査（2）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
8回	販売職についての説明（1）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
9回	販売職についての説明（2）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
10回	販売職 レポート作成	聴講内容を振り返り、資料を纏めることができる。			
11回	営業職 事前調査（1）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
12回	営業職 事前調査（2）	聴講テーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる。			
13回	営業職についての説明（1）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
14回	営業職についての説明（2）	知的好奇心をもって聴講し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる。			
15回	営業職 レポート作成	聴講内容を振り返り、資料を纏めることができる。			